昭和39年８月27日第３種郵便物認可　（旬刊・毎月１、11、21日３回発行）　© 京都自動車新聞社 2023年　購読料（６カ月）11,000円（税込み）

2023年（令和５年）
9月11日 月曜日
第1924号

京都自動車新聞

南支部 事故被害者遺族招き勉強会 2
新晃自動車 車いす点検作業場提供 3
前照灯審査 来年８月下向きのみに 5
秋の全国交安運動 21日から10日間 8
◀京自販暴対協 総会・研修 6

発行所　京都自動車新聞社　京都市伏見区竹田向代町 51-5（京都自動車会館内）　電話（075）672-0552　ファクス（075）682-0205　メール access@kyotojidosha-np.jp

自衛隊や消防などと一体

自動車業界も一翼担う

2023年度京都府総合防災訓練が3日、亀岡市の保津川水辺公園で行われた。各地で風水害などが頻発している現況を踏まえ、防災意識は府民の中でも年々高まる傾向にある。こうしたリスクに最大限対応すべく、自動車業界も自衛隊や警察本部、消防局、日本赤十字社などと一体となり、大規模演習を繰り広げた。

府総合防災訓練で大規模演習

同日未明から亀岡市一帯に局地的豪雨が降り続け、土砂崩れや床上浸水

が発生、あわせて亀岡断層による直下型地震で火災や建物の倒壊が起こっているという複合的な事態を想定して訓練は行われた。

㊤災害状況を報告するヘリ㊦被災車両を速やかに撤去

訓練では、京都府警などのヘリコプターからの災害情報を受け、水陸両用バギーが現場へ急行。緊急車両の通行の妨げになっている倒木をチェーンソーで切断し、それをバケットローダなどで取り除いた。土砂で埋まった車両からは、災害救助犬による安否確認を行った上で、ドアをこじ開け、運転者を救出。そこに大嶋カーサービスのレッカー車が駆け付け、同社レスキュースタッフがタイヤに固定具を装着、残された被災車両を速やかに撤去した。

1階部分が座屈し、倒壊寸前のビルに取り残された被災者も、消防、警察が協力し合い、無事助け出した。

訓練後の講評で京都府の西脇隆俊知事は「関東大震災から100年、南山城水害から70年が経つ。その教訓を忘れず、最悪の事態も想定しながら、府民の安心安全を確保しなくてはならない」と使命感を強調した。

重要性や機動力アピール

一般社団法人京都府トラック協会（平島竜二会長）では、府との災害時協定に基づき会員事業所の2ㅌトラック1台が出動した。避難所からの救援物資輸送の要請を受けたトラックは、保津川水辺公園で飲料水やアルファ化米に見立てた段ボール箱33個を積み込んだ後、京丹波町役場、南丹市および亀岡市役所にそれぞれ配送。

その後、訓練会場となった保津川水辺公園で各市町村の公用車や、京都府生活協同組合連合会（西島秀向会長）のトラックと合流し、会場内を一周しながら一般市民に災害時におけるトラックの役割や機動力をアピールした。

京整振や各社PR

防災テーマにブース出展

防災訓練の会場には、自動車業界の車両展示ブースなど41区画の企業・団体コーナーが並んだ。

一般社団法人京都府自動車整備振興会（城谷忠会長）は、スポットクーラーの電力を日産リーフからまかなうデモンストレーションをブース内で行うなどし、電動車の給電機能（V2L＝ビークルトゥーロード）をPRした。運営には青年部会（小田垣孝志部会長）があたった。

ブースでは、地元住民が青年部会員を含む整備事業者ら11人の説明に耳を傾ける姿が見られた。京整振の嶋雅明副会長もブースに立ち寄り、スタッフを激励した。車両準備、ブース設営では京都日産自動車の協力を得た。

京都府オールトヨタは「MIRAI（ミライ）」を、三菱自動車工業は「アウトランダー」をそれぞれ展示。Fレンタカーは、リアリフトタイプの福祉車両の仕組みや機能を府民に体験してもらった。

追跡データベース

―東京商工リサーチ編―

倒産増加率、勢い増す

7月 コロナ破綻は危険水準

7月の負債額1000万円以上の全国企業倒産件数は、前年同月比53・4％増の758件と16カ月連続で前年を上回った。前年同月比の増加率は今年に入って25％以上の高水準が続く。今月はコロナ禍以降で最大の伸び率となり、増勢に拍車がかかる。このうち、京都の倒産件数は30件。東京商工リサーチが8月8日に発表した。

総数のうち、倒産した企業は2カ月連続で全て中小規模となった。このうち従業員数10人未満が全体の88・3％を占めた。産業別では金融・保険業、不動産業を除く8カテゴリで倒産件数が前年同月より増加。特にサービス業は262件と10カテゴリ中の最多で推移し、11カ月連続で前年同月を上回る。

一方、20年2月以降に起こったコロナ関連の経営破綻は、8月31日現在で、7038件に上った。うち京都は180件。コロナ破綻のトレンドは22年から一気に強まり、今年3月には月別最多の328件を記録。以降は若干の落ち着きを見せていたが、8月は過去2番目の件数となる300件に達した。業種別では飲食業が突出して多く、以降建設業やアパレル製造・販売、飲食料品卸売業、宿泊業の4業種が続く状況は変わっていない。

分析によれば、コロナ関連融資の返済資金が確保できずに事業継続を断念するケースが増加している。人手不足や資材価格の高騰も重なり、コロナ破綻は引き続き高水準で推移する可能性が高い。

産業	倒産件数	
	7月	前年同月比（増率）
農・林・漁・鉱業	9	80.0%
建設業	148	54.1%
製造業	81	58.8%
卸売業	77	28.3%
小売業	79	58.0%
金融・保険業	2	0%
不動産業	23	0%
運輸業	44	69.2%
情報通信業	33	26.9%
サービス業ほか	262	69.0%
合計	758	53.4%

レンタカー・代車のことなら なんでもご相談ください
トヨタレンタリース京都
予約センター
(075) 315-7320 年中無休

豊富なラインナップ
Japan venture
HITACHI Inspire the Next
TOOLPLANET TECHNOLOGY
AUTEL
LAUNCH
G-SCAN
DT-3300
HDM-9000
Diagnostic Tool TPM-3
MaxiSys Ultra
X-431 PAD VII
G-SCAN | 2 Tab
株式会社大黒商会 DAIKOKUSHOKAI
本社
京都市右京区西院平町 10 番地
TEL：075-311-0141
営業所
京都・南・亀岡・舞鶴・福知山・福井・小松・金沢・奈良・彦根